

令和3・4年度福岡県学校給食研究指定委嘱事業中間報告書

(兼：令和3・4年度公益財団法人福岡県学校給食会学校給食研究指定委嘱事業中間報告書)

学校名	北九州市立花房小学校	校長名	太田 敦生
所在地	〒808-0108 北九州市若松区小竹 2227 TEL 093-791-0544 FAX 093-791-0398		
児童生徒数	167	学級数	8学級
調理方式	単独調理場	共同調理場	その他
研究主題	食への関心を高め、望ましい食習慣を身に付けようとする児童の育成 ～学校と地域・家庭との連携を通して～		
研究の経過	1学期 研究の構想・計画 研究実践（体験活動の実施） 2学期 研究実践（体験活動の実施、主題研究授業の実践） 3学期 研究実践（主題研究授業の実践） 研究の考察とまとめ 令和4年度に向けての研究の協議		
本年度の研究の主な内容等	生活科・総合的な学習の時間・家庭科の授業研究を中心とした全体計画を作成し、どの学年も地域の「ひと・もの・こと」を生かした食に関する指導を実践した。その際、各学年の教育課程の中で発達段階に応じた指導の目標を設定し、地域（JA 北九若松支店、農家、脇田漁協組合、養鶏場、畜産農家）や家庭と連携した授業づくりを工夫することで、児童の食への関心を高め、望ましい食習慣を身に付けようとする児童を育成することを目指した。 1年生・・・「レッツチャレンジ1年生 さつまいも・トウモロコシの栽培」（生活科） 2年生・・・「ぐんぐんそだて わたしの野さい」（生活科） 3年生・・・「好きっちゃ若松 とうもろこし博士になろう」（総合的な学習の時間） 4年生・・・「お宝発見！ 若松の特産物のひみつ見つけ」（総合的な学習の時間） 5年生・・・「ぼくのわたしの花房米 ～地域の食材を使って調理実習をしよう～」（家庭科・総合的な学習の時間） 6年生・・・「食生活改善プロジェクト 食の安全と健康な体づくり」（家庭科） 学校全体・・・弁当の日、給食週間の取組、学校ホームページ「食育」コーナー		

本年度の研究の成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の発達段階に応じた食に関する体験活動を取り入れた学習を行ったことで、2学期末の職員アンケートにおいて、「食育の実践によって児童の食への関心は高まっている」と感じている職員の割合は91%であった。児童の調べ活動、体験活動など、地域の人とのつながりから感じ取った花房のよさは、食育の面における児童の知識や思考力、豊かな心情を育てていると思われる。 ● コロナ渦における短縮授業等で、計画通りに授業を進められず、見通しを立てることが難しかった。来年度は研究発表を予定しているので、今年度の反省点から全体計画を見直すとともに、場面設定や指導案検討などを綿密に行い、よりよい食に関する指導を行っていききたい。 ● 朝食の摂食率そのものはすでに高い数値であることから、今後は栄養バランスのよい朝食の摂食率向上のための取組を強化する必要がある。
次年度に向けた研究の重点等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業について <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、生活科・総合的な学習の時間・家庭科の授業研究を中心とし、地域の「ひと・もの・こと」とのつながりや関わりを大切に体験活動を取り入れた授業実践を行う。 ・ 情報収集や写真記録だけでなく、意見交換や表現活動においてもタブレット端末を活用した効果的な学習を行う。 ・ 各学年の指導の目標となる観点を意識した授業展開を工夫する。 ○ 給食委員会の活動について <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健委員会等と連携して、栄養バランスのよい朝食の摂食率向上のための啓発活動を行う。 ・ 感染症予防を徹底した活動を行う。 ○ 保護者への啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も学校ホームページや通信、家庭教育学級等で、食育の情報を発信していく。 ・ 弁当の日や保護者参加型の調理実習等を通して、保護者に積極的に食育にかかわってもらえるようにする。
次年度の研究計画	<p>1 学期 令和4年度の研究についての協議 年間計画の見直しと作成 授業実践の準備（地域の方等との打ち合わせ等） 指導案検討（夏季休業日中）</p> <p>2 学期 授業実践 研究要録作成 研究発表会（10月頃を予定） ※新型コロナウイルスの感染状況を見ながら公開方法を検討する。状況によっては時期の変更も考える。</p> <p>3 学期 研究の考察とまとめ（2年間の成果と課題）</p>